

ミズヒキ (水引)

名前の意味：穂が紅白の水引（お祝いのプレゼントを結ぶための赤と白のひも）ににているから。

分類：双子葉類、タデ科、ミズヒキ属
(タデ科の栽培植物：ソバ)

好きな場所：やや湿った林の縁

分布：北海道、本州、四国、九州

原産地：昔から日本に生えていた（自生）

特徴：さやのある葉、水引のような穂、褐色でつやのある種子。

種子の運ばれかた：動物の毛皮に付いて運ばれる

花弁の数：離弁、5裂

花の時期：9－11月

食べ方：食べられない

見分け方：タデの仲間は、穂がまばらで、花の色は白かピンク色。

見つけやすさ ★★★

見分けやすさ ★★

総合難易度 ★★

(★が多いほど量が少なく、見分けにくく、難易度が高い)